

# 狛江市の特色ある学校教育事業 21

## さわやかな風

### 少人数指導の実施

東京都からの教員加配に加え、市費による講師を採用、配置しています。算数・数学や英語などで習熟の程度に応じた指導をしたり、理科でチームティーチングをしたりして、きめ細やかな指導を推進しています。

### 夏休み学習教室の実施

夏休みには全ての小・中学校でサマースクール、学習教室等を実施しています。

### ティーチング・アシスタントの派遣

学習の補助を中心として、教員になることを目指している大学生や大学院生等を小・中学校に派遣して、個に応じたきめ細やかな対応ができるようにしています。将来の人材育成にもつながっています。

### 学力の定着と向上

分かる授業、  
楽しい授業の  
展開をめざして

### 英語指導員の派遣

英語の授業に、専門性の高い外国人の指導員（ALT）を小・中学校に年35日間派遣しています。また、小学校の外国語活動に対する教員研修を実施しています。

### 学習状況調査の実施

国語と数学（算数）の基本的な学習状況を把握し、指導の工夫に役立てるため、小学校6年生、中学校1・2年生を対象に狛江市が独自に取り組んでいます。



## やさしい風

### 健康保持と体力向上

体力向上の具体的な取組みを進めるために、「1校1取組」運動の開始、「体育かけはしプロジェクト」による小・中学校の系統性を踏まえた指導について実践を通じたカリキュラムづくりを進めています。

### 中学校部活動の充実

中学校全校に外部指導員を配置し、充実した部活動が行えるよう支援しています。

### 生命尊重・人権教育の重視

全教員が人権教育研修会に毎年参加し、生命や人権尊重の精神を醸成しています。

### 道徳授業地区公開講座の重視

子どもの規範意識等を高める素地となる道徳の時間を公開し、保護者や地域の方々と子どもの豊かな心を育成することについて、意見を交換する貴重な会としています。

### 体力向上と健全育成

健やかな体と  
豊かな心の育成  
をめざして

### キャリア教育と体験学習の重視

中学校では、望ましい勤労観や職業観をはぐくむため、3日間の「職場体験学習」を行っています。小学校でも「キャリア教育の年間指導計画」を作成し、児童自身に目的や役割をもたせる指導の充実に努めています。また、感動と心に残る体験学習を進めています。

### 学校図書館活用の充実

学校図書館（図書室）に学校司書（司書教諭補助）を配置し、児童・生徒の読書活動や調べ学習の充実に努めています。小学校2年、中学校2年の児童・生徒には「本の森」や「ようこそ本の世界へ」というおすすめ図書リスト100を、教員向けには「学校図書館活用資料集」を市で作成し、配布しています。

### 教育相談活動の充実

都費による小中学校配置のスクールカウンセラーの他に、市独自に教育相談員を小学校の全校に配置し、児童・生徒や保護者の不安や悩みに応じることができるようにしています。

## あしたへの風

### 小・中連携地区構想

- 小・中合同の主任会、連絡協議会、推進委員会等における担当者間の連携
- 「小・中連携の日」を実施し相互授業参観や協議、意見交換会の実施
- 「かけはしプロジェクト」をはじめとする小中一貫カリキュラム開発、授業連携の推進
- 学校運営連絡協議会における管理職相互の関与
- 小・中学校教育研究会の同日開催等によるより一層の連携
- 学校行事や地域行事における連携
- 小学校卒業時期の連絡会の実施
- ◇義務教育9年間を見通した小・中連携地区づくりを目指しています。

### 狛江の特別支援教育

- 就学支援シートの作成のための連携と活用
- 専門家チームによる巡回相談の実施
- 副籍事業にかかわる居住地域交流の実施
  - ・夏季休業中の水泳教室での交流
  - ・学校行事や授業での交流
- 特別支援学級合同展覧会の実施
- 特別支援教育支援員の配置
- 特別支援学校との合同研修会の実施
- 狛江市地域特別支援教育推進連絡協議会の実施



新たな時代の多様な課題に対応し、「地域一体型」の連携をめざして

### 特色ある教育課程

- 〔小学校での一部教科担任制〕
  - より質の高い授業を目指し、工夫することにより、次の効果を期待しています。
    - ・複数の教員による指導により、子どものよさを引き出し伸ばすこと。
    - ・中学校での教科担任制に、事前に慣れること。
- 〔中学校での二学期制〕
  - 学校行事をはじめとする教育課程全体の見直し
  - 指導方法の工夫
  - 評価の工夫・改善
  - 夏季休業日の活用の見直し（学習教室の実施、面談や教育相談の実施）
  - ◇教育課程全体を見直し、上記のような取組みの充実に努めています。

### 新学習指導要領への展開

- 言語活動の充実
  - ・研究奨励校による研究成果を基にした授業の構成や進め方の改善
  - ・指導室訪問、授業研究訪問等を通しての全教員への主旨理解の徹底や具体的実践例の紹介
- 理数教育の充実
  - ・小・中学校の教員連携による教材開発・授業連携等のプロジェクト実施（H19は算数・数学、H20・21は理科）
- 小学校段階における外国語活動
  - ・教員研修の実施
  - ・市内全小学校で外国語（英語）活動の授業を、全5・6年生で年35時間実施
- 環境教育
  - ・多摩川・野川等での環境学習
  - CO<sub>2</sub>削減一斉行動（小5、中1での取組み）

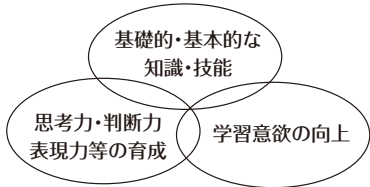
### 平成23年度狛江市教育委員会教育研究奨励校発表 狛江市立和泉小学校

## 「学ぶ意欲が高まる児童の育成」－指導と評価の工夫をとおして－

10月28日（金）狛江市立和泉小学校にて狛江市教育研究奨励校の研究発表会がありました。「学ぶ意欲が高まる児童の育成－指導と評価の工夫をとおして－」の研究主題で、5校時に全学級（17学級＋特別支援学級）で授業公開が行われ、311名と多くの参加者がありました。

小学校では学習指導要領が改訂され、左記の育成が求められています。本校では、教員による組織的な取組みを進めることにより、児童の学習意欲を高め、学力の向上へと結びつけていこうと考えました。

### 学力の3要素



具体的には、①習得した学力の指導と評価の一体化を目指し、ポートフォリオ評価を導入 ②学習意欲の向上により、児童が主体的に学習をすすめる授業の展開の工夫をして、発表しました。講演の対談は、鎌倉女子大学特任教授 廣田敬一先生、聖徳大学教授 廣嶋憲一郎先生にお願いし、参加者と共に有意義な時間がもてました。

研究に対し、教員が組織的な取組みを進めることにより、授業力が向上したことと、その結果、市の学力調査によると児童の学力が向上してきていることはうれしいことです。今後も教職員一同、地域の期待に応える公立学校を目指して努力を続けます。

